

(平成24年 5月 試験研究業務月報)

タスクチーム活動テーマ：飼料米の鉄コーティング直播栽培及び牛用飼料向け

低コスト加工調製方法の確立

情 報

## 飼料米の安定生産と牛への給与に向けて加工調製技術を探る

当センターは、農業改良普及センターと今年度タスクチーム※1をつくり、耕種農家での飼料米の省力・低コストな栽培、肉牛農家での加工調製、給与の一連の方法を提案します。

今回、京丹後市大宮町の飼料米栽培法人の水田で、省力技術として確立した鉄コーティング直播方式※2で田植えを行いました。種を播く間隔や施肥方法の違いが収穫量などに及ぼす影響を調査し、飼料米の安定生産技術を確立します。

※1 タスクチーム・・・研究機関と普及組織が連携して地域の重要課題を解決するチーム

※2 鉄コーティング直播方式

- ・・・鉄粉で包み込んだ種子を土壌表面に播く方法で、重さで土中にしっかりと根を張って倒伏を防止するとともに、固いのでスズメから種子を守ります。



直播田植機による播種作業

畜産センター